



弁華別小学校での授業

当別町ALT  
(アシスタント ランゲージ ティチャー)

スティーブ  
Stephen Underwood

アンダーウッドさん

子ども達の国際交流は進んでいる

**ア**ップルのA (エー)。教室から楽しそうな発音が聞こえてきます。ここは弁華別小学校 5,6 年生の外国語活動の時間。町内の小・中学生に生の英語 (ネイティブ) に親んでもらおうとこの任に当たっているのが獅子内に住むスティーブン・アンダーウッドさんです。

**カナダ**の東側、トロントの生まれです。両親はイギリスからの移住で兄弟はイギリス国籍ですが、自分はカナダ国籍。明治時代の頃、大伯父が長崎、横浜、神戸のホテルでオーナーだったから、家には日本の人形、書、陶芸、刀があって、日本文化に興味を持った。その後、西海岸のバンクーバーで小学校から大学時代までを過ごし、ブリティッシュコロンビア大学で、はじめ経営学を専攻していたけれど、やめて日本文学を勉強しましたが三島由紀夫の小説はいいね。

**憧れの**日本には 17 年前に来ました。最初は東京に行ってみたけれど、カナダに似た自然の多い北海道はやっぱりパラダイスだったね。スキーやゴルフなどアウトドアには最高で、随分通った。このまちの人たちも歓迎してくれたから、当別の人たちは大好きだよ。そして運命の人にも出会った。

**100 本**のバラとダイヤモンドをプレゼントしてね、家族になった。今は 8 歳と 5 歳の息子もいる。やっぱり家族が大好き。次男は仮面ライダーに夢中で、限定販売のライダーベルトを買うためにトイザら스에並んだ、朝 5 時にだよ。でも前の日から泊り込みの人がいて自分は 2 番、びっくりしたね!

**小中学**校で英語のお手伝いを始めたのは 4 年前から。日本の学校は面白いね、先生もファミリーみたい。週末も部活動があって一緒にいる時間が多い。他の国の学校は銀行

みたいに 9 時から 3 時だよ。日本の教育内容だって素晴らしい。数学は進んでいるし、社会は歴史が厚くて覚えきれないしね。でも家庭も大事です。「子どもにとって最初の学校は家庭」、あれは名言だね。親は子どもに色々なことトライさせたほうがいい。キャッチボールでもスキーでも音楽でも一緒になってやるのが大切。

**英会話**はニコニコしてやらないと続かないね。中学生になると文法だとか宿題が多いからすぐやめてしまう。教えている子どもたちはとてもピュアだから学校でもまちで会っても英語で挨拶してくれるよ。そしたらお母さんたちも挨拶してくれるようになった。クリスマスにはサンタの衣装で車を運転していると、みんなリアクションしてくれる。サンタのボランティアは楽しいね。子どもたちを通してハローウィン、これからはイースターも当たり前になるんじゃないかな。笑顔のこぼれる仕事はやりがいがあるよ。(11月6日取材)